

季刊ワイナート イタリア・トスカーナ特集

Wineart

Autumn

Quarterly Magazine 2001 Number
<http://www.bijutsu.co.jp>

12

イタリア
ワインが
面白い
パート1

特集 やっほり トスカーナは 凄かった!

Vini Toscani, davvero eccezionali

トスカーナの
スーパー・ワイン
3品種を
レストランで楽しむ

次世代トスカーナ、
キャンティ・クラッシコ、
トスカーナの白、
その他の地域
テイスティング

463本

初ヴィンテージから 恐るべき違いを見せる マレンマ地区の 最先端ワイン

Photos by Winart

数年間という短い間に、それまで地味な白ワインを造る以外は荒地ばかりだったスヴェラートの土地は、トスカナで最も注目を集めるワイン産地へと変貌した。その動きの先端にいるのが、トゥア・リータの斜面の上に位置するモンテペロージである。

カーナというよりカリフォルニアのベニス・ビーチにあるサーファの家のよう。イームズの椅子もカリフォルニアっぽい。訪問した時など昼だというのにダンス音楽が大音量で流れている。しばらくすると、オーナーのファビオ・キャレロットさんが「忙しくて昨日は寝てないんだよ。だから音楽を聞いて寛いでたんだ」と、目をこすりながらのっそりと現れた。イス人であるキャレロット

ス

トさんは、カトリックの歴史を研究していたのだ

が、「研究助成金を集める苦労にほとんど嫌気がさして、これからはワインを造ろう」と思い、99年にこのワイナリーを買った。エノロゴを勤めるルカ・ダットーマによれば、「彼は商売を考えていない。とにかく情熱をもって最高のワインを造ろうとしている。それがい



カベルネの畑。粘土、砂、泥土が3分の1ずつという土壌。元々は6haで、新たに5.5haを整地した。そこに植える品種は秘密とのこと。

モンテペロージ

Montepeloso

オーナーのファビオ・キャレロットさん(写真上)。家の脇にある小さな樽熟成庫で。写真下はワイナリーの外観。中庭に香気なピザ焼き釜が設えてあるこの家を、しかし誰がワイナリーと見るだろうか。

「98」と言う。年の収穫1カ月前にこの地にやってきて、前のオーナーと少し仕事をしただけだというのに、彼にとつてのはじめてのワインである99年のモンテペロージは、並の人間では一生かかっても到達できない、次元が異なる完成度の高さを見せつける。特にカベルネ・ブレンドのガッブロ・レディガッフィは有名だけど、この土地はメルロには暑すぎるから、カベルネこそが適合する。それにメルロはシンプルすぎるし、熟成可能性に疑問があるから好きじゃない。僕はエレガントなワインがいい」と言うだけあり、

ワインを生産、瓶詰めしたのは前オーナーがはじめてで、それは白ワインの93年もの。94年に、SgとCSのブレンドであるナルドが登場し、97年にガッブロが造られる。99年が現オーナーの元での初ヴィンテージだ。ガッブロのカベルネは、トスカナとしては20年と高い樹齢。28度と低めの温度でさらっと発酵、マセラシオン。フリーランのみ使用。ノン・フィルターで瓶詰め。

ガッブロはスヴェラートらしい、ある種カリフォルニア的な濃厚な果実のパワーをもっているが、スヴェラートとしては例外的な、メドックのような繊細さと堅牢さをも備えている。98年の6500本という生産量に対して、セレクションを厳しくして、たった2000本しか生産されなかった99年のガッブロ。トスカナの頂点を極める、恐るべき能力をもったワインである。



Suvereto, Toscana

もともとは白ワインの土地だったスヴェラートは、93~94年頃に急に赤ワインで有名になった。おかげで何も考えないでブドウ品種を植える人が多い。



トスカーナのスーパー・ワイン ベスト

テイस्टングした中から、比較的市場に出回っている'97ヴィンテージ以降のものを選んで順位をつけました(輸入元表記のない商品は現地試飲もしくは個人所有の参考品)。

サンジョヴェーゼ

Sangiovese

メルロ

Merlot

Best 1



ペルカルロ 1997
サン・ジュースト・ア・レンテンナーノ
Percarlo 1997 San Giusto a Rentennano

Score
96

清潔な気品を保ってなお長い妖艶な味わいの快楽。おいしい。おいしすぎる。サンジョヴェーゼでここまでリッチに、ここまで大きく、ここまでセクシーになるのか。

Best 1



ラ・リコルマ 1998
サン・ジュースト・ア・レンテンナーノ
La Riccolma 1998 San Giusto a Rentennano

Score
97

次々と新しい表情を見せるような、連綿と湧き出てくる味わいの奥行きに、時間を忘れる。ジュシーに甘い果実すべてを包み込んで優しく、泣けるほどおいしい。

Best 1



テヌータ・ディ・ヴァルジャーノ 1999
テヌータ・ディ・ヴァルジャーノ
Tenuta di Valgiano 1999 Tenuta di Valgiano

Score
96

信じがたく大きく、濃厚で、深い。サンジョヴェーゼのもつ清潔な緊密感を最大限に発揮しつつ、神経質さや固さがなく、余裕の笑顔で構える、眩しいばかりの存在感。

Best 1



メッソリオ 1997
レ・マッキオーレ
Messorio 1997 Le Macchiole
14,000円/モトックス

Score
97

爆発しそうなほどのアルコール分とあまりに濃厚なエキストラクトとして逃げ出したくなるがそれでもなお抵抗できない異なる魅力。万人が必須とすべきワインの芸術体験。

Best 2



ロッソ・ディ・セーラ 1998
ポッジョ・ピアーノ
Rosso di Sera 1998 Poggio Piano
4,200円/吟奏の会ワイン倶楽部・土浦銘本屋
尊大なまに堂々として揺るぐことない果実の密なパワーが最初から最後まで貫く、敬服すべき見事なワイン。ワイルドで知的という驚くべき完成度に達している。

Score
95

Best 2



マッセート 1997
テヌータ・デル・オルネライア
Masseto 1997 Tenuta dell'Ornellaia

Score
96

現代のワインの典型として、すべてのツボを押さえた完成度に、誰も素直に納得するはず。マッセートとして滑らかな質感。

Best 3 **94** ベッキア 1999 ガッリオレ
Pecchia 1999 Gagliole

Best 3 **94** プーロ・サング 1997 リヴェルナーノ
Puro Sangue 1997 Livernano

Best 3 **94** リーパ・デル・モーレ 1997 カステッロ・ヴィッチオマッジョ
Ripa delle More 1997 Castello Vicchiomaggio

Best 2



レディガッフィ 1999
トゥア・リータ
Redigaffi 1999 Tua Rita

Score
96

とてもソフトで、まったく抵抗感も圧迫感もないおいしさ。とパワフルで、非常に凝縮感のある味わい。驚くべきくワインの余韻は延々と続く陶酔を生む。

カベルネ・ソーヴィニヨン

Cabernet Sauvignon

その他の赤ワイン

Other Red

Best 1



テヌータ・ディ・トリノーロ 1999
テヌータ・ディ・トリノーロ
Tenuta di Trinoro 1999 Tenuta di Trinoro

Score
99

空前絶後のトスカーナ。異様に高いアルコールをもつとしない恐るべき果実の力が口の中に貼りついて離れない。ヘビーだが軽やかで、狂っているが崇高に上品という、真の芸術作品だ。

Best 1



スクリオ 1997
レ・マッキオーレ
Scerio 1997 Le Macchiole
11,000円/モトックス

Score
94

少し単調とも見える。それでも恐るべき凝縮度をもつ体じゅうを熱くする力の前では、ひたすらおいしいと感ずるしかない。

Best 2



ガブプロ 1999
モンテペローゾ
Gabbro 1999 Montepeloso

Score
96

確信に満ちたパワーと、揺るぎなく堅牢な密度の高い構造と、さらりとクールに知的な性格が、高い次元でバランスする、滅多に見られない程の完成度。

Best 2



チンチナート 1999
テヌータ・ディ・トリノーロ
Cincinnato 1999 Tenuta di Trinoro

Score
93

優しいタンニンとマンゴ的にクリーミーで厚い酸味のある、グラに富んだ果実の凝縮度。ヒリヒリとさせる事に強固なグリップに長大な余韻。

Best 2



ルピカイア・ロッソ 1998
キャストロ・デル・テリッチイオ
Lupicaia Rosso 1998 Castello del Terriccio
13,000円/中島重商店
鍛えられた筋肉の鮮やかな表現力。知的に統御された構成の奥行き。すべてが整然とつつも秘められた熱気が伝わるような、見事に凝縮されたワイン。

Score
96

Best 2



ポデーレ・イル・ボスコ 1997
ルイジ・ダレッサンドロ
Poderi Il Bosco 1997 Luigi d'Alessandro
5,000円/フードライナー

Score
93

安定感がある大きなアタックから続く、堂々と口の中をのろく、グラに富んだ果実の凝縮度。ヒリヒリとさせるニンと鮮烈な酸をもちつつ、エレガントにまとまる。

Best 3 **94** レ・スタンツェ 1998 ポリッツィアーノ
Le Stanze 1998 Polignano 5,500円/オーデックス・ジャパン

Best 3 **94** ヴィーニャ・ダルチェオ 1998 カステッロ・ディ・ランポーラ
Vigna d'Alceo 1998 Castello dei Rampolla

Best 3



シラー 1999
ポッジョ・アル・ソーレ
Syrah 1999 Poggio Al Sole
4,600円/中島重商店

Score
91

濃密なジャミーな甘さをもつコクに、グッドさを感じさせるタンニン、酸ともにしっかりと、緊密な構造ゆえに空っぽになって、長い余韻まで続く。

Saeculum 1997 Tenuta di Riveccoli



サエクルム
1997
テヌータ・ディ・リセッコリ

91

少しオークが香る気味で、過熱的に酸味のあるチェリー的な味があるものの、甘さでそれを包み込んでくれる。どこか上品な感じが、納得させられる。これだけの甘さでありながら、ミディアム・ボディは、適度な酸とキメ細かいタンニンを伴い、きちんと整った高級感溢れる印象があり、余韻も崩れずに長い。飲み頃:Now~2015 (田中) Sg50%, CS40%, M10%

Sangiovese 1995 Badia a Coltibuono



サンジョヴェーテ
1995
バディア・ア・コルティブオーノ

91

濃いめのガーネットで、緑は少しオレンジ色。凝縮したドライチェリー、ドライフラワー、香木、木の葉に、少し焦がしたバターや土の香りも加わる。柔らかい口当たりで、しなやかな果実味と生き生きとした酸がとてうまくバランスし、ふくよかさが重すぎない、上品な味わい。飲み頃:Now~2010 (名越) Sg 日飲商事 7,000円 (A)

Vignaia 1998 Badia di Morrona



ヴィーニャ・アルタ
1998
バディア・ディ・モローナ

91

凝縮度の強さに訴えるタイプではないが、バランスのよさで魅せる、上品で知的なミディアム・ボディのワイン。粘りがある質感を伴って、清潔感のある味わいの要素が柔らかな羽毛のように口の中をふわっと広がるが、しっかりとした芯が、余韻も長い。上質なしみるきれいな酸と、優しく舌の上に残る果実の甘さ。バラやカシスの香りもきいた。飲み頃:2003~2018 (田中)

Cabreo Il Borgo 1996 Premiovini



カブレオ イル ボルゴ
1996
プレミオヴィーニ

90

濃いめのガーネットで、緑はオレンジ色。甘く華やかな香りで、スパイス、濃いドライチェリー、ドライフラワー、スパイス、そして少しチョコレートや涼しげな香りもする。果実味がたつぷりとし、酸はよく抑えられているが、細やかなタンニンはまろやかで、モダンでしっかりとした造り。飲み頃:Now~2008 (名越) Sg70%, CS30% サントリー/オープン価格 (B) 現行97ワインテージ

Camartina 1996 Agricola Querciabella



カマルティーナ
1996
アグリコーラ・クエルチャベッラ

90

落ちついた風格と厚みのある果実味の、余韻ある大きさ。手慣れた技量を感じるバランスのとれたワイン。キビキビした酸と堅牢なタンニンが適度なメリハリをつくる。最初から最後までスケール感とエネルギー密度が変わらない点が素晴らしい。余韻も長い。どこか官能的な訴求に欠ける暗さがつきまとう。ミネラルとブルーベリーの硬めの香り。飲み頃:2003~2014 (田中) Sg主体、CS、M、Sy エノテカ 5,800円 (A)

Cepparello 1998 Isole e Olena



チェツパレッロ
1998
イゾーレ・エ・オレーナ

90

非常に純度が高く、礼儀正しく、真面目で、直線的に立ちのびてくるスミレ、ラズベリー、黒コショウ、高級感溢れるオークのアクセントをさり気なくまとった香り。高めの酸とシルキーで、強靭なタンニンの、硬質で緻密な構造。細身の体躯は頭を開きながら、時間をかけて徐々にジンワリと溶けてくる清らかな甘さ、軽やかな気品を生む。飲み頃:2005~2020 (田中)

Flaccianello 1997 Fontodi



フラッチャネッロ
1997
フォントーディ

90

穏やかな気配に包まれた高めの酸と長い余韻が、古典的な完成度と最初は見えないが、滑らかな舌触りや上品な質感、ふと見せる神経質さ、余韻に残る青さとゲーミィーさといったある種の汚れが香る上から、むしろ複雑で人間的な魅力として好ましく映る。黒オリーブ、タール、血、ドライフラワー、ブルーベリー、肉のジュの熟れた感のある香り。飲み頃:Now~2014 (田中)

Avvoltoire della Maremma Toscana 1998 Moris Farm



アヴォルトーレ・デッラ・マレンマ・トスカーナ
1998
モリス・ファーム

91

乾いた土の香りとミントの香りに、うねるようなワイルドな、熟したブラックベリーやブルーベリー、スパイスやクラッシュド・レッドペパーの香り。少し目立つオーク。とても強いタンニンに厚みがあり、しっかりと酸が持ち良く引き締める果実の密な甘さ。あまり洗練度はないが、ミッドノールに感じるガッツのある前向きな性格が、余韻も長い。飲み頃:2003~2014 (田中) Sg75%, CS20%, Sy5% フードライナー 5,000円 (A)

Cetinaia 1995 Castello di San Polo in Rosso



チェッティナイア
1995
カステッロ・ディ・サン・ポロ・イン・ロッソ

91

濃いめのガーネットで、緑はオレンジ色。華やかな深みのある香り。ドライフラワー、ドライチェリー、乾いた皮、スパイス、トースト、タールなど、ふくよかな香りが広がる。まろやかで落ち着いた果実味と、しっかりと酸のバランスに優れ、豊かなタンニンはとても細やか。緻密で素晴らしいバランス。飲み頃:Now~2010 (名越) Sg100% アルカン 6,200円 (A)

Crognolo 1999 Tenuta Sette Ponti



クロニョーロ
1999
テヌータ・セッテ・ポンティ

91

どしりと安定した納得のワイン。コゲの強いオークが邪魔で、バランスを崩しているものの、それ以外は見事に完成度。凝縮度の高い素晴らしい果実が、清潔でいて濃密な甘さを放ち、イキイキとおいしく、余韻も長い。ミッドノールの充実度と広がりにはサンジョヴェーゼとして傑出している。知的で高密度な黒い果実やスパイス、花、ハーブの香り。飲み頃:2004~2015 (田中)

I Balzini 1996 Filippetti & D'Isanto



イ・バルツィーニ
1996
フィリッペッティ&ディサント

91

スミレ、ラズベリージャム、カシス、スパイスの、とても鮮やかで目の詰まった香り。豊かで甘く、コクがあり、若々しく前になる、わかりやすくワイルドな味わい。それほど滑らかではないし、緻密さもないが、それでも低い酸とスパイスのアクセントが生きる、朗らかな大きなおもしろさ、やめられない魅力に溢れ、甘いオークも効果的だ。飲み頃:Now~2015 (田中) Sg、CF、CS

Nardo 1999 Montepeloso



ナルド
1999
モンテペローゾ

91

洗練の技よりも真っ直ぐな力を感じる、恐れなく抽出したガッツのある味わい。フルーティさに偏らずにサンジョヴェーゼならではの強靭なグリップを前面に出した、タイトに筋肉質なつくり。熟したブラックベリーやカシスのジャムやスパイスに、ふと古典的ラザフォードの如くダスティでミネラル、土に直結したような熱い香り。余韻は少し緩いが長い。飲み頃:2004~2017 (田中) Sg90%, CS10%

Rosso di Sera 1997 Poggio Piano



ロッソ・ディ・セーラ
1997
ポッジョ・ピアーノ

91

勢いのあるチェリー、ブラックプラム、クローブ、黒コショウの非常にスパイスの強い香り。何か自信に満ちたパワーがまっすぐに伝わってくるような、わざと目立たない若々しい味わい。しっかりと清潔な酸と、切れ味鋭いタンニンに、甘さが少なくともリッチさのある果実味。ミッドノールの若干の緩さと、余韻の表情の単調さが難点。飲み頃:2003~2014 (田中) Sg、コロリーノ

Sa' Etta 1999 Monte Bernardi



サエッタ
1999
モンテ・ベルナルディ

91

過熟ギリギリの甘さを感じるコクと力の高密度な果実のストレートな魅力が、強めのオークにもかかわらず、無用な色付けに邪魔されることなく伝わってくる、純粋に楽しめるおもしろさ。ブラックベリー、ブルーベリー、スパイスの香り。ドスンと流れおちて胃が熱くなるような問答無用の若さがありつつ、不思議な育ちのよさと妖艶さをふと覗かせ、おもしろい。飲み頃:Now~2012 (田中)